

# ふるさとわがまちづくり

## 御船町自治区

### 「御船町」の由来

御船町自治区は、北は藤岡地区西中山町、そして、南は勘八ダム（三水湖）右岸に接し比較的面積の広い自治区です。猿投山が眼前に迫り、平戸橋町から北に続く丘陵地は農業振興地域としての開発がすすみ、市内では珍しくのどかな牧歌的風景を見ることが出来ます。

日本武尊の兄・大碓命の伝説によって名づけられた「御船」という名前も、遠い昔のロマンを秘めたものであり、ここに登場する御船川も川の改修でその姿こそ変わったものの今なお自治区の中央を北から南へと流れ、町を東西に二分しています。

御船の語源は船で上り住み着いたという説と、猿投山のお舟石の1つがこの地に下りて来た（お舟石は名鉄沿いにある）との説と、集落の地形が中に低く両側に高い船形をしていることから・・・との各種の説があります。

### 自治区の年間行事

区民の親睦行事として、盆踊り、運動会、御船祭と、新しく区民となった人たちも加わ



秋のふれあいまつり



り、年々にぎやかさを増しています。

また、河川浄化運動には、区民総出で、川に繁っている葎や雑草の抜き取り、草取りなどの清掃作業を行っています。

### まちづくり活動

#### 白髭草群生地・しでこぶし群生地

貴重な白髭草やシデコブシが御船町に生息しており、自治区として、『絶滅から守ること』とその活動を通して『自然を愛する豊かな心と環境の造成』を図っています。



#### 白髭草・シデコブシ



お舟石



区民会館横のマレットゴルフ場

#### 山田川～御船川 清流回復事業

山田川・御船川の水質浄化を行ない、子どもたちが安心して、水遊びができ、環境意識を向上させることを目的としています。



EM菌による浄化活動

#### 自治区の課題

自治区内には、道路問題を始め多くの課題をかかえています。

住宅の増加によるコミュニティの希薄化、産業廃棄物業者の進出等環境問題、交通問題（大渋滞の解消と安全対策）、子どもの安全確保、です。

また、豊かな自然をそのまま大切に守るための、環境保全活動などです。

今後も、御船川を中心として両側にあふれる緑を生かし、自然とうまく共存した区の開発を考える必要があると思います。

#### 御船町自治区データ

(H19.4 現在)

設立：昭和42年  
世帯数：634世帯  
：334世帯（昭和51年）  
組数：51組  
面積：4.20Km<sup>2</sup>  
自治区たより：「自治区だより」年12回  
回覧：月2回  
ちびっ子広場：2箇所  
ふれあい広場：1箇所  
防犯灯設置箇所：186箇所  
小学校：井上小学校区  
自治区会館：御船町区民会館（45-7685）